パンデミックの可能性は白紙状態に

第8波は終息しそう

パンデミック　人間の意識と密接に関係

危機も軽くなる方向に変化

日本豊受自然農・由井寅子代表

日本豊受自然農の由井寅子代表はパンデミックの最新情報を寄稿してくれた。それを紹介する。

2022年9月15日号の環境農業新聞に掲載された「今年11月12月に人工ウイルスがばらまかれ新たなパンデミックが起こりそう」という記事ですが、これに関して状況が大きく変わったので、最新情報をお届けします。結論から申し上げますと、当初予想された、コロナウイルス、エイズウイルス、マールブルグ熱、サル痘、天然痘の遺伝子を組み合わせた人工ウイルスによる新たなパンデミックの可能性は白紙状態となりました。

現在、新型コロナの変異株であるにケルベロスやグリフォンなどによる第8波が来そうということはありますが、これらはあくまでも、新型コロナの変異株の流行であり、12月から来年3月にかけてはこの新型コロナの変異株による第8波の流行で終息しそうです。

パンデミックだけではなく、ここ1～2年以内に起こりそうだった食糧危機、戦争、天変地異、金融危機もどんどん軽くなる方向に変化しており、現在は乗り越えられる程度のものとなる見通しとなっています。

なぜこのように変化したのかですが、はっきりしたことはわかりません。ただ、恐れが少し減ったことと関係しているようです。新型コロナの茶番に気づき、世界的には新型コロナへの恐れが減ってきていることは間違いありません。

パンデミックは白紙状態にと語る由井寅子代表

人間の意識変わった

パンデミック、食糧危機、戦争、天変地異というものは、人間の意識と密接に関係しています（それが人工的なものであろうが、自然的なものであろうが）。ですから、一つの可能性としては、人間の意識が一定数以上変わった（目覚めた）からかもしれません。

アグリビジネスに出展

記者会見する由井代表

しかし、危機が完全になくなったわけではなく、数年の猶予が与えられただけと考えた方が正しいと思います。つまり、猶予が与えられた間に、私たち人類が、善の心をもてたならば、このまま危機がこない未来というものも可能であるということです。どちらに転ぶかは私たち次第ということです。

環境農業新聞を通して多くの人の意識が変化したということも、この事態急変の小さいながら一つの要因としてあるかもしれず、成瀬社長には心より感謝申し上げます。私も今回、皆さまが希望をもてるようなことを発信することができ嬉しく思います。

3年ぶりに伝統の展示会開催

秋田県種苗交換会　機械化ショーの思い出

初日に会期中の無事を祈るのも恒例行事

白石会長

日本一の農業機械展示会である秋田県種苗交換会協賛の農業機械化ショーが3年ぶりに10月29日から11月4日までの7日間、大曲の花火公園で盛大に開催された。同ショーは何といっても来場者数が凄い。秋田県内はもちろん東北各地、北陸、関東などから来場することも特徴だ。

筆者としても大曲での開催は思い出深いものがある。今は秋田県農業機械化協会会長となっている白石光弘氏（秋田クボタ社長）がまだ秋田クボタの営業部長の頃に「秋田種苗交換会特集」に携わり、展示会出展の農業機械小売価格を紙面に掲載した。当時は関係の新聞社一つも特集を発行していない時だった。当時、秋田県農業機械化協会の会長だった石井雄光氏が「この新聞は無料でなく売れる」と高い評価を下してくれるほどだった。

その晩、白石当時部長らと祝杯をあげ、その次の晩は秋田県経済連農業機械部長らと宴会、実に楽しかったことを思い出す。

第100回という記念の年に特集号を作ったことが昨日のように蘇る。

今回で秋田県種苗交換会は145回を数え、農業機械化ショーは74回目とのこと。

この機械化ショーで展示会号外を発行したこともある。

1号、2号、3号と号外を発行。それを会場に届ければあっと言う間に無くなってしまう。会場内で取材したものがすぐ新聞に写真入りで掲載されるわけだから好評を博した。

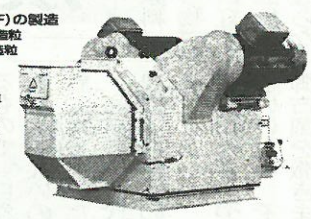
今回の秋田県種苗交換会協賛農業機械化ショーで白石光弘秋田県農業機械化協会会長は「この2年、やむなく協賛を見送らせておりましたが、新型コロナ感染状況も、ようやく落ち着きを見始め、まだ油断はできませんが、十分な感染予防対策を前提に再開を果たすことができました。私も再開をひときわ喜んでいる一人です」と挨拶している。

秋田種苗交換会はいまや全国区になっており、その名を聞くと胸がときめく。何とか秋田に行ってまた号外を出そうかなと考えている。

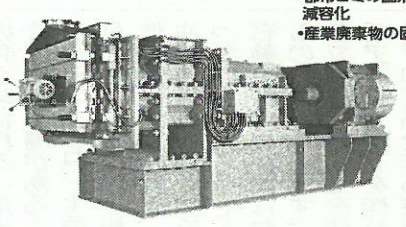
MIIKEリサイクルプラント

建設系混合廃棄物リサイクルプラント　木質ペレット製造プラント　多目的造粒機　比重選別機
ＲＰＦ製造プラント　食品残渣リサイクルプラント　バイオマス温水ボイラー　各種乾燥機
容リプラリサイクル設備　各種廃棄物中間処理プラント　バイオマス蒸気ボイラー
廃木材有効利用プラント　多目的圧縮成形機　おが粉製造機

多目的造粒機ペレットミル
■用途
•固形燃料(RPF、RDF)の製造
①不燃ゴミ乾燥品の造粒
②廃プラスチックの造粒
③古紙の造粒
•家畜用飼料の製造
①ワラ、牧草等の造粒
•堆肥ペレットの製造
•木質ペレットの製造



圧縮成形機 マルチホーマー
■用途
•固形燃料製造用(RPF)
•都市ゴミの固形燃料化(RDF)減容化
•産業廃棄物の固形化、減容化



技術の MIIKE！
アイディアの MIIKE！
そこから廃棄物の処理を考える MIIKE！

株式会社 御池鐵工所　http://www.miike.co.jp

本社・工場/〒720-2124 広島県福山市神辺町川南 396-2　TEL (084) 963-5500　FAX (084) 963-5508
関東営業所/〒333-0855 埼玉県川口市芝西二丁目 4-19　TEL (084) 261-1166　FAX (084) 261-7115
九州営業所/〒813-0034　福岡市東区多の津四丁目 9-10　KI ビル 301　TEL (092) 629-0450　FAX (092) 629-0451
札幌営業所/〒060 - 0001 札幌市中央区北一条西 3 丁目 3 - 31 古久根ビル 8F　TEL (011) 223-1208　FAX (011) 223-1207
関東サービスセンター/〒333-0855 埼玉県川口市芝西二丁目 4-19　TEL (048) 261-1166　FAX (048) 261-7115